

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2021年10-12月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は363社から回答があった。景況判断DIは▲10(前期調査から3ポイント悪化)となった。来期の見通しは▲22となり、12ポイント悪化する見込みとなっている。経営上の問題点については、5割以上の会社が「従業員の不足」を挙げた。

以下、その他業況感DIの内訳

2021年7-9月期に対して、

- ・売上高DIは11で、4ポイント改善
- ・処理量DIは2で、2ポイント改善
- ・営業利益DIは-2で、3ポイント悪化
- ・資金繰りDIは-1で、4ポイント悪化
- ・借入難易度DIは9で、前期と変わらず
- ・設備投資DIは4で、6ポイント改善
- ・従業員数DIは-2で、2ポイント悪化

- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で2.8%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で2.9%増となった。
- 経常利益率については、平均値が7.4%で前期調査(7.1%)より改善した。

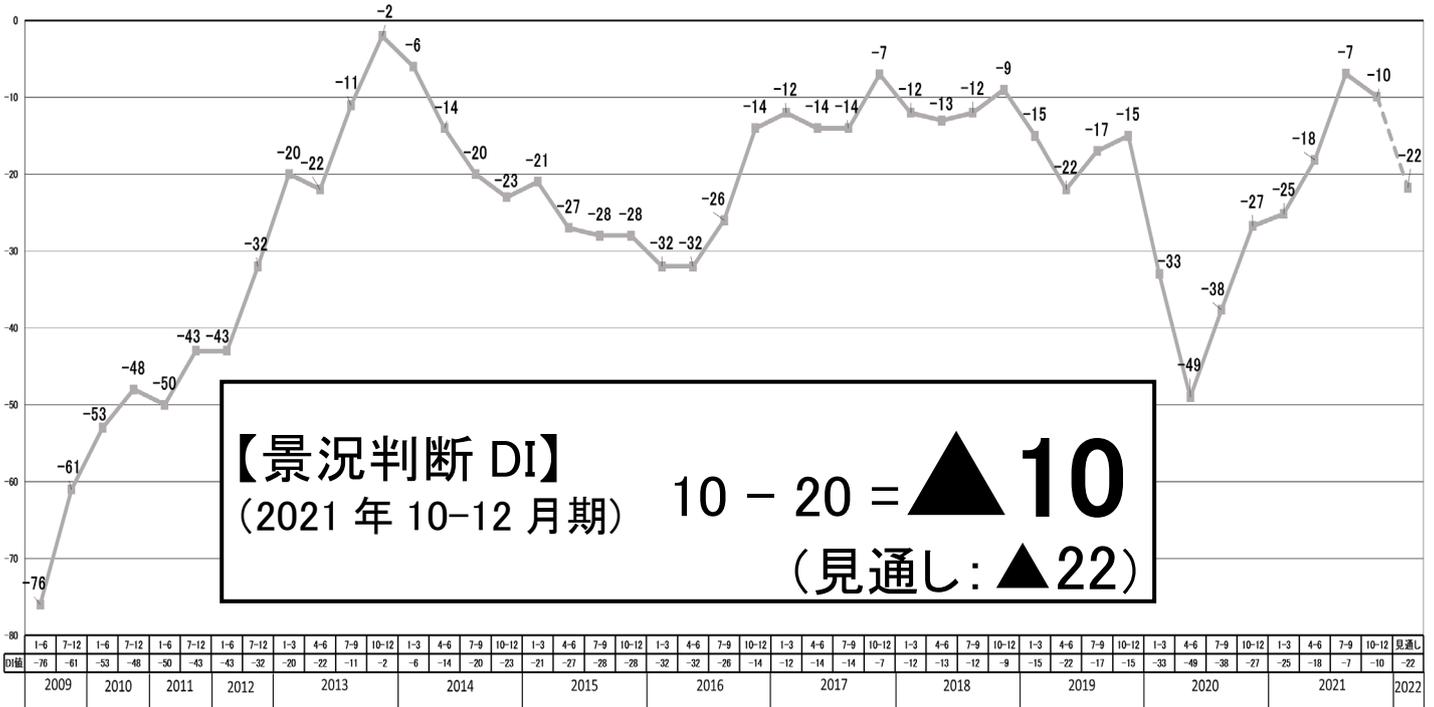
※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

〔調査の要領〕

- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:Webによるアンケート
- 調査期間:令和4年1月7日~1月31日
- 回答企業数:363社

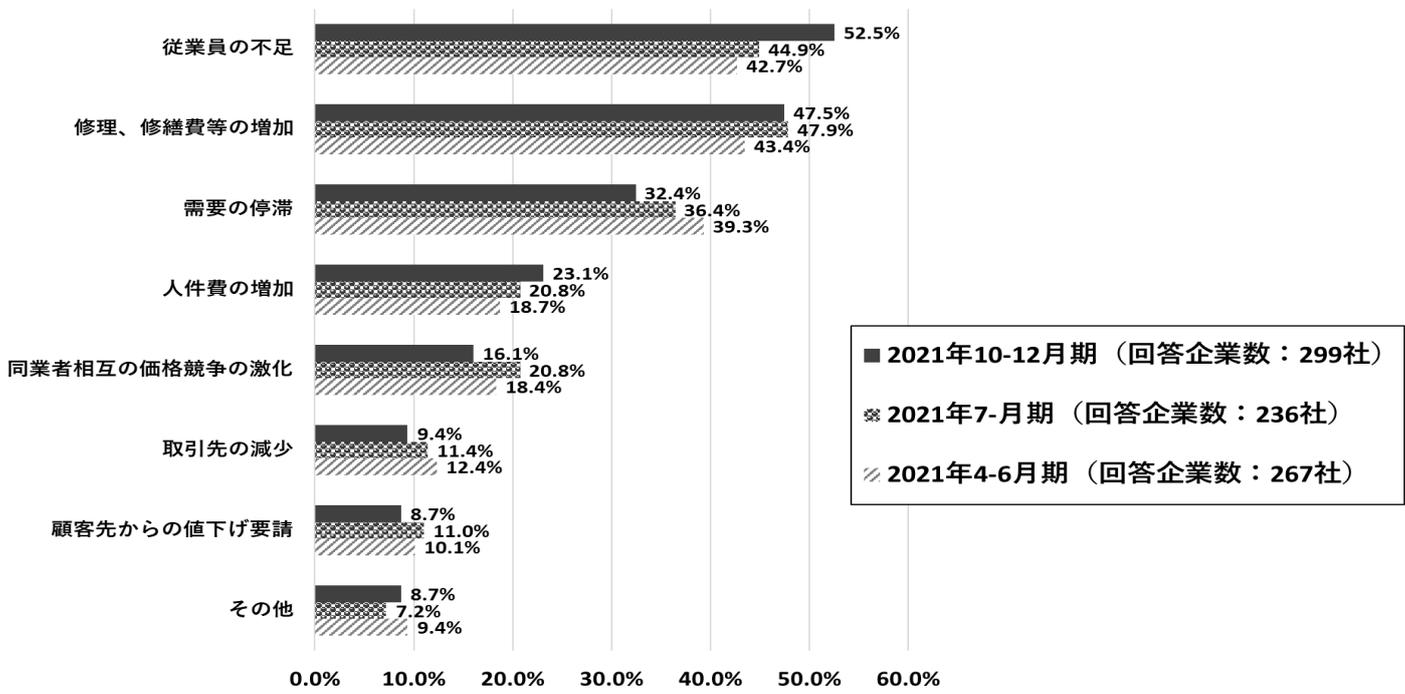
景況判断DI(2009年1-6月期~2021年10-12月期と見通し)



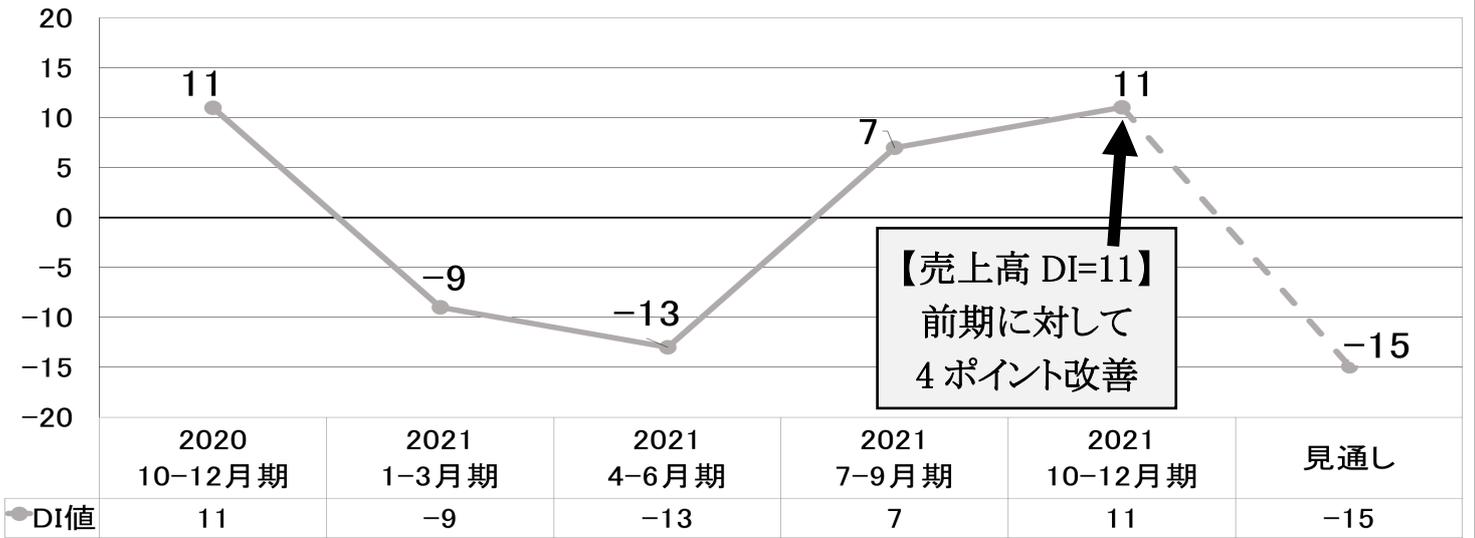
【景況判断 DI】
 (2021年10-12月期) 10 - 20 = **▲ 10**
 (見通し: **▲ 22**)

経営上の問題点(複数回答可)

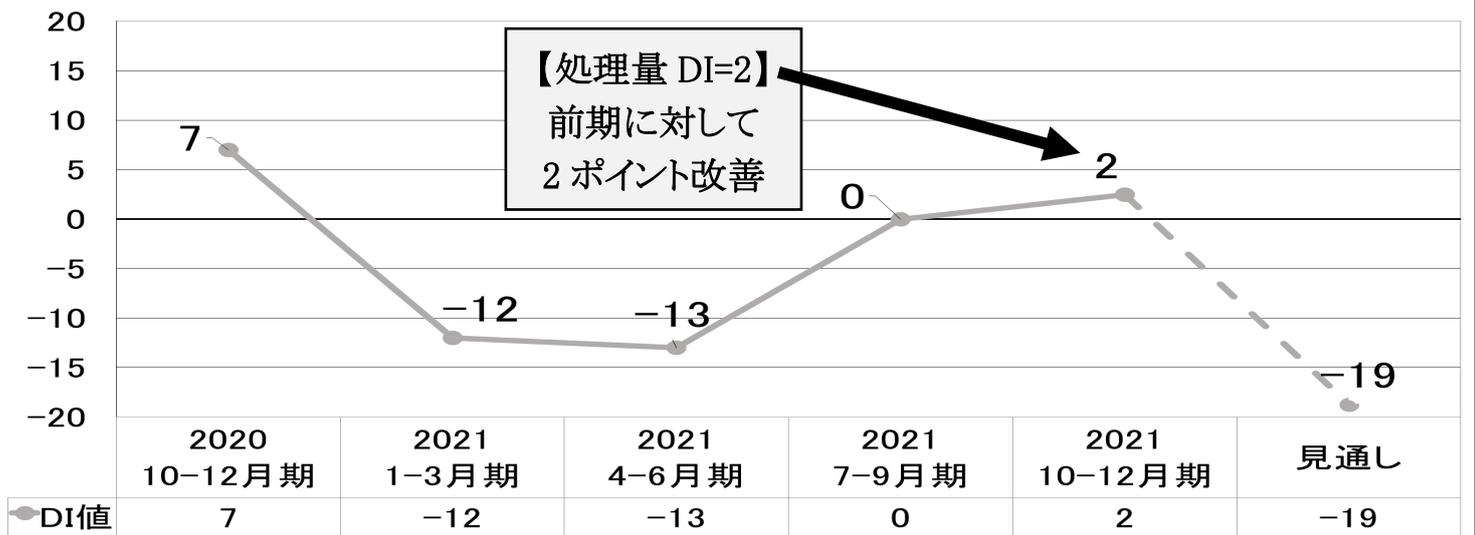
<2021年10-12月期 (回答企業数: 299社) >



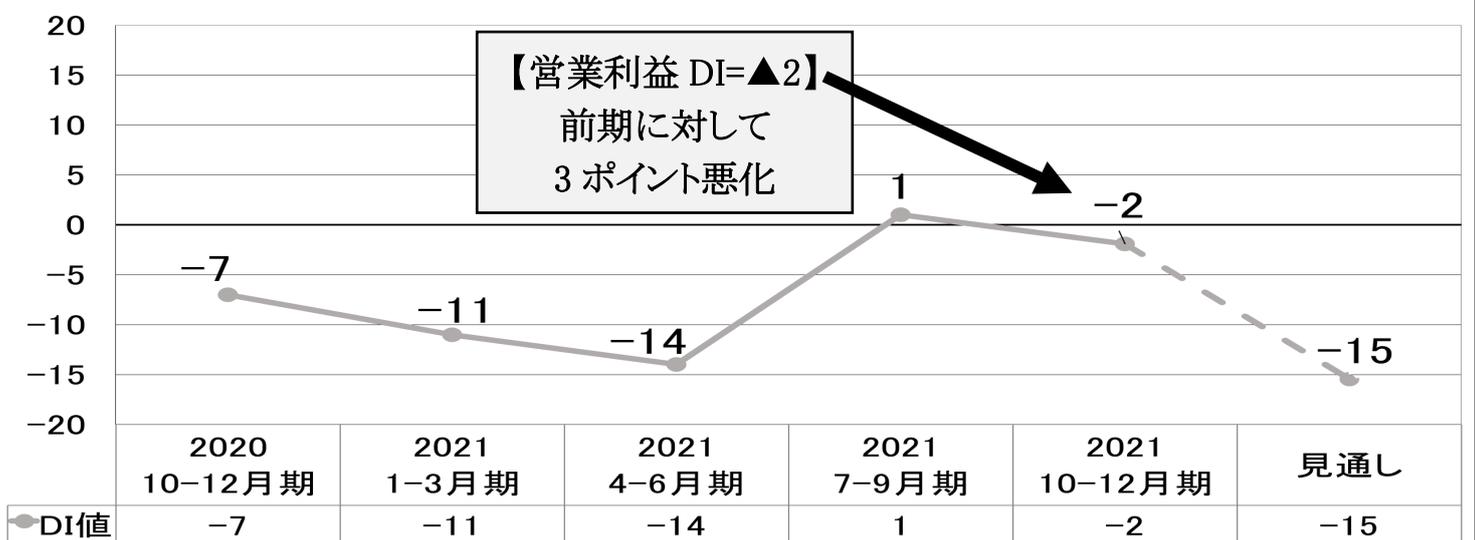
売上高DI (2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



処理量DI (2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)

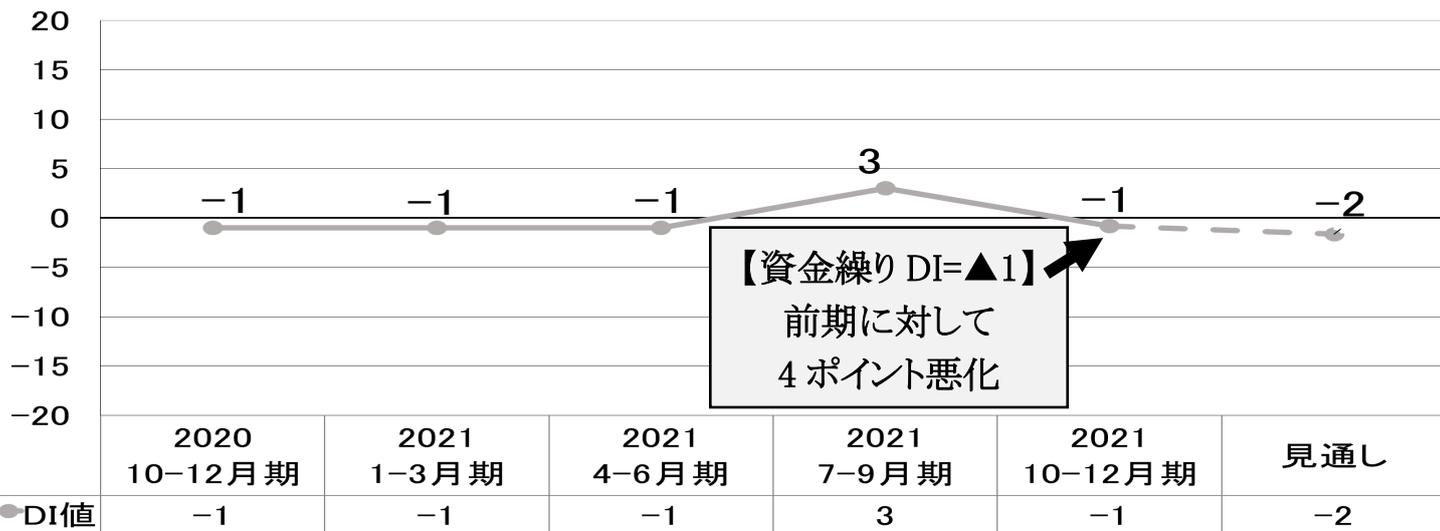


営業利益DI (2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



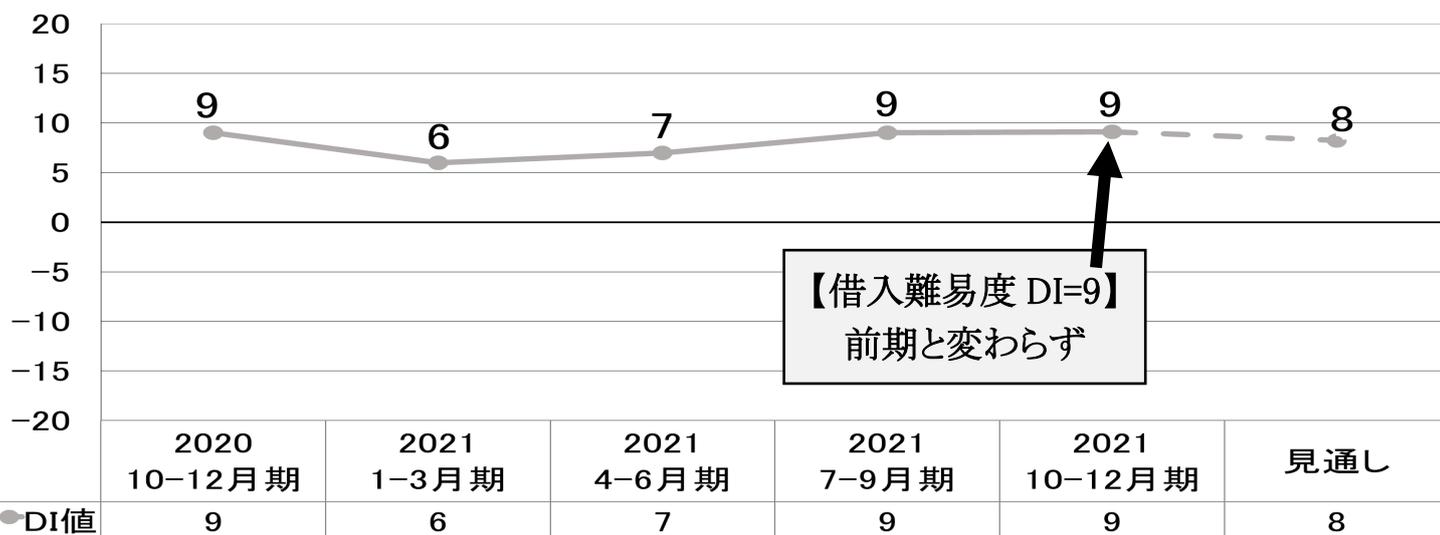
資金繰りDI

(2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



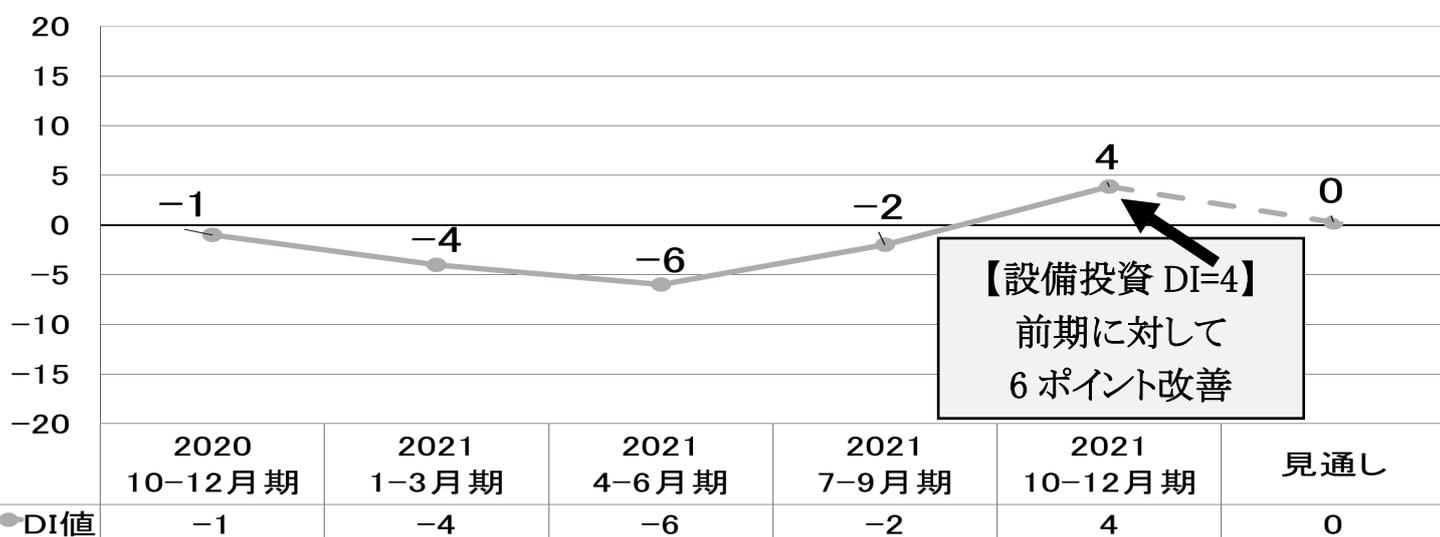
借入難易度DI

(2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



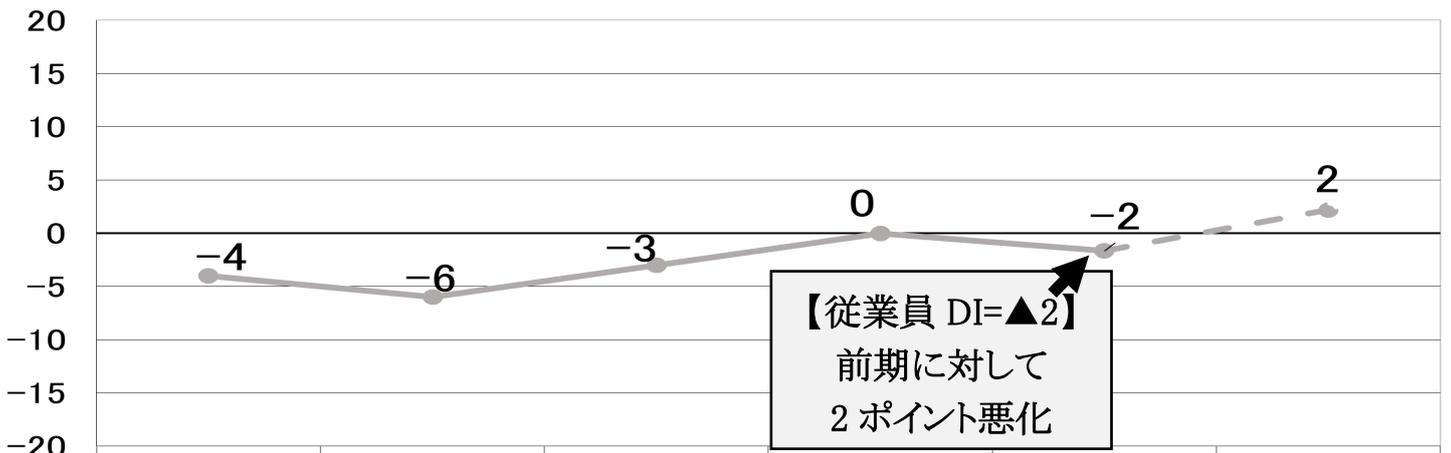
設備投資DI

(2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



従業員数DI

(2020年10-12月期～2021年10-12月期と見通し)



【従業員 DI=▲2】
前期に対して
2ポイント悪化

●DI値

2020
10-12月期

2021
1-3月期

2021
4-6月期

2021
7-9月期

2021
10-12月期

見通し

-4

-6

-3

0

-2

2

【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

